



中学部：サマースクールで多くの体験を行いました。

5月24日(水)から26日(金)、ウォリケンスポーツセンターでサマースクールを行いました。3日間天気がよくアドベンチャーやディスクゴルフ、キンボール、オリエンテーリングなどの活動をモニターさんに教えてもらいながらチャレンジしました。1日目の夜はレクリエーションで、ゲームやドッジボールを楽しみ、2日目の夜は、スタッツで各グループが

考えた発表を行いました。スタッツでは、小道具を工夫したり、昔話をアレンジしたシナリオにしたりと、アイデアいっぱいのステージにみんな大喜びで、発表をやりきった後の満足している姿が印象的でした。サマースクールを通して、中学1・2年生が交流を深めながら、個々の役割をしっかりと行うことができました。今後の学校生活で、自信をつけてひとまわり成長した姿を期待しています。



【生徒アンケートより】

頑張ったこと、集団に貢献できたこと

- こまめに時計をみて行動することができた。
- どんなことでも楽しもうと全力でできた。
- 困っている人に声をかけて解決することができた。
- 積極的に話しかけて仲を深めることができた。
- 1・2年生共に助け合えた、親睦を深められた。
- 係の仕事がある人の荷物を持って行ったりして、忙しい係の人が少しでも楽になるようにした。



あなたが見つけた仲間の良さ

- 班長として、10分前行動の声をかけてくれた。
- 代表して施設の人の話を通訳してくれた。
- アスレチックの時に、一生懸命応援してくれた。
- 美化係としてシャワー室を責任持ってきれいにくれた。



○明るい雰囲気にする力、自分より相手のことを先に考える力。みんなを引っ張る力。

学んだことを学校生活で生かすことは?

- 準備を怠らず本番までに完璧にする。
- 時間に余裕をもって行動すること。
- 集団行動の良さ、協力のしかた、仲良くなれる距離の詰め方や、感謝の気持ちを伝えること。
- 認め合う心を常に意識すること。
- 真剣(本気・全力)に取り組むこと。



中学部：修学旅行で歴史・平和学習を行いました。



5月31日(水)から6月2日(金)で2泊3日の修学旅行を実施しました。昨年度と同様に、ドイツのベルリンとポツダムを訪れ、歴史や平和学習をはじめ、班別自主活動を行いました。天気も良く、どの見学地も充実した学習ができました。特に1日目は、ザクセンハウゼン強制収容所では日本語ガイドの方の説明を受けながら見学ができ、生徒からもたくさん質問が出て、丁寧に答えていただいた内容をメモして学習を深めていました。

ツェツリエーンホフ宮殿では、ポツダム宣言が出されるまでの様子をオーディオガイドで確認しながら見学場所をじっくり見て回ることができました。

2日目は、事前に班で計画した行動表をもとに、自分たちで見学地を回りました。予定通りに行動することの難しさを感じながら、班員が協力をしてなんとかホテルに戻ってきました。夜は正装に着替えて、ベルリンフィルハーモニーを鑑賞し、聴き入っていました。中学3年生17名で3日間過ごした思い出は一生の宝物です。修学旅行で得たもの・経験したものを事後学習で発表し、多くの人に伝えてほしいと思っています。

1日目	ツェツリエーンホフ宮殿、ザクセンハウゼン強制収容所を見学
2日目	ベルリン市内の班別自主活動、ベルリンフィルハーモニー鑑賞
3日目	ベルリンの壁イーストサイドギャラリー、ベルリンの壁記念館、ドイツ連邦国会議事堂、シンティ・ロマ、ブランデンブルグ門、バイエリッシャープラッツ見学



【生徒の日記より】

- ドイツの歴史の学習で、改めて世界は平和であってほしいと願ったし、誰もがそうであってほしいと思っているということを実感した。
- フィルハーモニーがすごかった。音を生かそうとする建物の構造が気になった。反響とかまで計算されていて、さすがすごい楽団と思った。
- ニベアハウスで4人の写真入りニベアを作ってもらい、すごく嬉しかった。
- ザクセンハウゼン強制収容所はインターネットで調べてはいたが実際見てみるとすごく広く、昔を知り勉強になった。
- ベルリン大聖堂は数百段の階段を登って上まで行ったけど、上からの景色がきれいで疲れが吹っ飛んだ。
- 自分たちだけで決めて行動するのは初めてだったので良い経験になった。
- 班行動でミスがあっても臨機応変に対応できて良かった。
- レストランで典型的なドイツ料理を食べて一皿でお腹いっぱいになり、めちゃくちゃ美味しかった。
- 国会議事堂のガラスドームが近代的な印象で、ドイツのオープンな政治だからだと納得した。
- 家の安心感がハンパなかった。



(文責) 校長 佐野 仁美